

2022年度 福井県バレーボール協会 強化方針

強化委員会

1. 栃木国体に向けた強化

①少年の部

目 標
強化内容

ベスト4

高校総体兼国体予選会優勝チームを中心に、強化に取り組む。全国トップの高校やVリーグチームとの強化合宿・試合を積極的にこなし、心技体にわたり効果的な強化活動を展開する。

②成年の部

目 標
強化内容

北信越国体突破

国体予選会を開催し、県選抜チームを編成する。併せてふるさと選手を加えて強化に取り組む。県外国体チームやVリーグチームとの強化合宿・試合を積極的にこなし、全国大会での結果を積み上げる。

③ビーチの部

目 標
強化内容

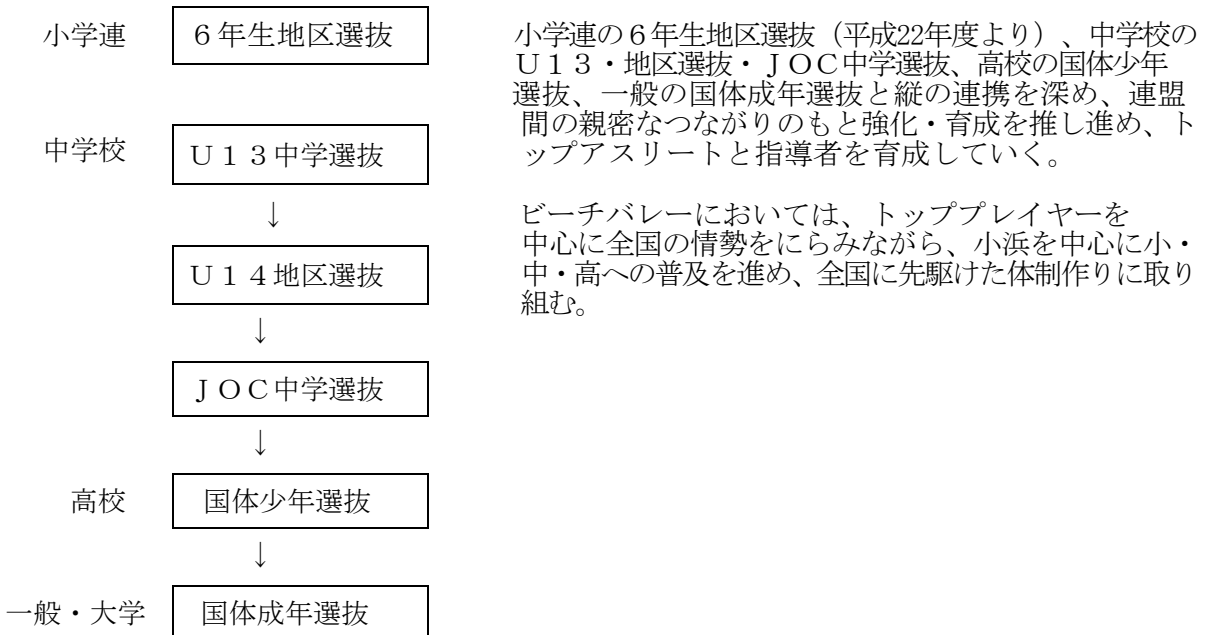
ベスト4

国体予選会優勝チームを県代表チームとして、強化に取り組む。スーパーアドバイザーの指導を仰ぎながら強化合宿・試合を積極的にこなし、全国大会での結果を積み上げる。

④選手強化本部にスーパーアドバイザーを配置

中垣内 祐 一 氏(新規)	元全日本監督
荻 野 正 二 氏(継続)	サントリーサンバーズ所属
藤 田 幸 光 氏(継続)	京都橘大学女子バレーボール部監督
村 上 めぐみ 氏(新規)	元全日本選手 (株)立飛ホールディングス
幅 口 絵里香 氏(継続)	
道 木 優 輝 氏(継続)	DG2GYM所属

2. 福井型指導者・競技者育成一貫システム



2022 年度ビーチバレーボール競技（少年種別）強化計画

1. 競技力向上に向けた環境整備

「ふくいビーチバレーボールクラブ」練習会を年間通して（冬季以外）継続する。

嶺南のチームは若狭鯉川シーサイドパーク、嶺北のチームは三国サンセットビーチを活動拠点とし、継続した専門的な指導が受けられる環境を整える。

5月の予選会後は、優勝・準優勝したチーム・選手を第2期強化指定選手とし、毎週日曜日に、練習会及び県外遠征を行い、本県チームを全国トップレベルに引き上げる競技環境を整える。

2. 福井しあわせ元気国体会場の有効活用

小浜市と連携し、福井国体の会場となった小浜市内に整備されている屋内外常設コートを、地元にも根ざした強化拠点として有効に活用する。

3. ジュニア世代の有望選手の発掘、育成、強化

中学生・高校1年生の年齢層を中心とした練習生を募集する。そのため、県高体連・県内各中・高校顧問、クラブチーム等の協力を得て、県内トップレベル選手、それに準じる選手を育成し、競技レベルの底上げを図る。また、強化指定選手と競わせながらジュニア世代の将来性豊かな有望選手の発掘・育成・強化に一体的に取り組む。

年間を通して小・中・高校生を対象とした体験会を開催する。連盟ホームページをより充実させ、募集について県内に幅広く情報発信する。

本県ゆかりのトップアスリートを招へいし、その魅力にふれ合うことでビーチバレーボール競技の興味・関心を一層高める。また、小浜会場・三国会場でビーチバレーボール競技ができる環境が「身近にある」ことを周知する。

4. スーパーアドバイザーによる本県チームへのプラス効果

長年にわたり第一線で活躍してきた本県選手から、プレーする姿勢や取り組み方を間近に触れることにより、選手がその技術や知識を学ぶことができ、国体や全国大会に向けての強化及び有力な選手の発掘や育成を行う上で、より詳細な適正評価を受ける機会とする。

国内の最新情報の収集や効果的な練習方法、疲労の取り方、調整の仕方などについて自らの経験を選手に伝え、選手のコンディションや心理面を向上させるなどアドバイスを提供するきめ細かなサポートを構築していく。また、県内指導者も指導方法を学び、スキルアップできる機会とする。